

テーマ:子供の体験活動 / 対象:小学生 / 主催:小谷地域センター

8-①

通学合宿(2泊3日)

地域を学ぶ	—	地域でつながる	●	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習内容
平成 29 年 10 月 12 日(木)	小谷地域 センター	○開所式 ○my コップと箸づくり (竹細工) ○班ごとのミーティング ○夕食 ○ナイトウォーキング ○反省会
10 月 13 日(金)		○登校(P T Aの方が安全管理者として学校まで付添) ○キャンプファイヤー ○入浴 ○宿題 ○反省会
10 月 14 日(土)		○朝食準備, 朝食 ○大丸目山登山 ○昼食, 片づけ, 清掃 ○閉所式 (参加努力賞の表彰, 班毎にチェックリストの報告, 総評)



対象	小谷小学校高学年の参加希望者 (4年生男女 - 12人 5年生男女 - 22人 6年生男女 17人)	
経費	○参加費を徴収 3,500円/1人当たり×51名=178,500円 ○まちづくり協議会 20,000円助成金(青少年育成費として)	合計 198,500円
連携先	○小谷小学校(校長, 教頭, 担任の先生方), 小谷小学校 P T A (59名) ○地元自治会(小谷小学校区市民協働まちづく協議会) 女性部会(21名) 環境部会(6名) おやじの会(5名) 文化・青少年育成部会(6名) 広大生(4名) センター職員(2名)	

問合せ先

東広島市小谷地域センター
東広島市高屋町小谷 5560
電話・ファクシミリ 082-434-3758

2 講座設定の理由（学習の目的）

- 地域における人間関係の希薄化に伴う子供達の体験活動不足やコミュニケーション能力の低下が懸念されており、子供たちのコミュニケーション能力や自主性を養う。

3 学習目標

- 体験活動を通して、身に付けておくことが望ましい技能（ナイフの使い方や火の扱い方等）を身に付ける。
- 異学年(4, 5, 6年生)との集団生活の中でコミュニケーション能力や自主性を育む。

4 事前に必要な知識や準備物

- 企画～準備委員会の立ち上げと打合せ～実施～実施報告～反省会を含む流れは時間も要するため、きめ細かい準備が必要であり協力体制づくりを丁寧しておく。
- 事前に児童の健康管理票及び承諾書の提出を義務づけている(規定様式)
- テーマに対するチェックリスト一覧表を作成(班ごとに自己管理する)し、今後の反省材料とする。

5 留意点

- 参加への意欲を持たせるため4年生～6年生を通じて3年間、自主的に参加した者には「参加努力賞」の授与をする(29年度からスタートする6名を表彰する)
- 規律ある集団生活を身に付けるため、全員が合宿に向けた意思疎通を図るテーマを設定し自主的、積極的に各自が目的に向かって活動できるようにする。
- 異学年との集団生活は協力と創意工夫する事で自主的に行動をすることが期待でき、活動を通してコミュニケーション能力の育成の場とする。

6 成果

- 参加者で班編成とリーダーの選任や利用する部屋に合宿テーマを掲示して毎日全員で確認することによって自覚と自主性、行動力を促し目標に向かって協力体制づくりができた。
- 2泊3日の短期間での合宿は、よい思い出づくりや集団生活のルールについて考えることができ、望ましい人間関係づくりができた。
- 積極的な意見交流と協力、スケジュールに合わせた自主的な行動、考える力などが養われた。

7 課題

- 地域センターは限られたスペースであり、衛生面の設備不足(洗面、トイレ等)なので児童の参加人数が限られ最大でも50名迄であり、それ以上は受け入れるスペースがない。
- 所持品には名前、忘れ物、毎年繰り返し伝えるが必ず最後に不明の物と忘れ物がある。

8 今後に向けて

- 小谷地域センターの伝統的な事業であり、問題点、課題などは反省会で意見を述べ合って少しずつ改善レベルアップに繋げている。